



道農連2021年10月の月間活動トピックス

2021（令和3）年10月29日発行（第104号）

秋闘の対策方針などを決定／第5回執行委員会

道農連は10月11日、第5回執行委員会を開催し、秋闘基本農政対策及び業態別対策における提言項目の組織討議案などを協議した。基本農政対策では、①国際貿易対策、②基本計画の実効性確保とみどりの食料システム戦略への対応、③2022年度予算決定に向けた対策の3点を重点に、各業態別対策の提言項目に盛り込みながら対応を図ることとした。

このほか、10月31日に投開票される第49回衆議院議員総選挙においては、組織の農政活動に対して理解のある議員を国政に送り出すため、各地区組織などから道農連に対して推薦依頼のあった候補者6名の推薦を決定し、執行委員会以降の推薦依頼の取扱いについては、三役に一任することを確認した。

米・水田農業、畑作・野菜対策委員会を開催

道農連は10月25日に第4回米・水田農業対策委員会、26日に第3回畑作・野菜対策委員会を開催し、秋闘対策の政策提言項目を決定した。

米・水田農業対策では、水田活用の直接支払交付金の十分な予算確保や米の需要・価格回復対策などを重点に求めることとした。

畑作・野菜対策では、米国産生馬鈴しょの輸入解禁反対や、次年度予算で新たに要求されている持続的畑作生産体系確立事業の内容拡充と十分な予算確保等を重点に求めることとした。

次年度予算概算要求等に関して農水省とリモートで意見交換を実施

道農連の大久保委員長と中原書記長、事務局は10月8日、農水省との意見交換をリモートで実施した。2022年度予算概算要求等において課題や疑問点などがあつた①みどりの食料システム戦略の実現に向けた試験研究の取組み、②環境保全型農業直接支払、③水田活用の直接支払交付金、④持続的畑作生産体系確立事業など、⑤環境負荷軽減型持続的生産支援（エコ畜事業）の5項目について、農水省担当部局より説明を受け、意見交換を行った。

10月の活動記録（上記以外）

- 7日 「牛のメタン80%削減に向けた新たな家畜生産システム」シンポジウム
- 8日 道農業再生協議会第2回水田部会
- 11日 三役会議
- 12日 道農連女性書記の会幹事会（リモート）
- 14日 道農業青色申告会事務局会議
- 15日 合成洗剤追放北海道連絡会第1回運営委員会
- 21日 メタンガス排出抑制等に関する帯広畜産大学との意見交換（リモート）
- 27日 天北地区農民連盟秋期学習会

11月の活動予定

- 2日 てん菜糖分分析用サンプリングのあり方検討作業部会
- 5日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 9日 次世代を担う組織活動に関する研修会
- 16日 第30回JA北海道大会
- 17日 秋闘：米・水田農業対策中央行動（～18日）
- 18日 秋闘：畑作・野菜対策中央行動（～19日）
- 24日 全道書記長・事務担当者研修会
- 29日 秋闘：酪農・畜産対策中央行動（～30日）

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（Tel011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

